

湖国で輝く 企業を訪ねて

株式会社 エフアイ



代表取締役
きたの ゆうこ
北野 裕子 氏

フィットネス、整体、セミナー研修・経営支援事業の3つの柱で 人と社会を「健幸」にする会社をめざして

長寿県・滋賀の地域課題に取り組んで

全国でもトップクラスの平均寿命を誇る滋賀県。2022年に厚生労働省が発表した「令和2年都道府県別生命表の概況」によれば、男性の平均寿命は82.73年で全国1位、女性は88.26年で2位と非常に高い水準です。

「一方、健康寿命を見ると、主観的指標（日常生活に制限のない期間の平均）は男性が73.46年で全国4位であるものの、女性は74.44年で46位と大きなギャップがあります。つまり滋賀県の女性は寿命が長いと不健康期間も長くなる傾向にあるということです。これは地域社会を挙げて取り組むべき大きな課題です」。こう話すのは株式会社エフアイの代表取締役・北野裕子氏。栗東市に本社を置き、幅広い年齢層の女性を対象としたフィットネス事業を展開するのをはじめ、整体事業、セミナー研修・経営支援事業な

どを手掛け、業績を伸ばし続けています。

めざしているのは「人と社会を健幸にする会社」。同社が掲げる「健幸」とは、身体的な健康の先にある健やかな幸せを指し、体とともに心も健康にすることを事業の主軸にしています。

姉妹で引き継いだ父の事業と志

創業は34年前の1992年。裕子氏の父である北野一郎氏が、地元市役所で要職を歴任したのち50代で退職し、会社を設立しました。海外旅行などを楽しむ人が増えるなか、「楽しい思い出の記録を早く、手軽に残すお手伝いを」と写真現像サービス事業をスタートさせ、湖南エリアを中心に多店舗展開に乗り出します。

また同じころ、パソコンを使ったデザイン・印刷データ作成の導入が進むのを受けて、県内初となるDTP入出力センターを開設。県内の印刷業界のデジタル化にいち早く対応しサービス体制

を整えました。創業から2年後にはデザイン制作部門を立ち上げ、それにあわせて裕子氏と姉で現事務取締役の北野有紀氏が入社。印刷物の制作のほか販促ツールやブランディングの提案などを手掛けるようになっていきます。

その後、写真や印刷のデジタルデータ化が進んだことで、現像や出力サービスからは撤退していくこととなりますが、新たな事業の柱として着目したのが健幸事業でした。裕子氏が中心となり、女性だけの30分フィットネスを掲げる「カーブス」のフランチャイズ加盟店として2008年に1号店を開店。翌年には裕子氏が社長に就任し、地域密着型の店舗を次々にオープンさせ、現在は7店を運営するほか、2025年秋には男性向けの店舗展開もスタートしました。「フィットネスに舵を切ったのはいわば第二創業期」と振り返る裕子氏。「時代の流れを読み、地域の暮らしに役立つ技術を提供する」という志を父から受け継ぎ、事業を続けてきたといいます。

デザイン事業から、経営支援「三方よし」事業へ

フィットネス事業の経営とあわせてデザイン部門の営業として、顧客の販売促進やブランディングを担当していた裕子氏ですが、「印刷物やデザインの制作だけでは、お客様が求める売上向上などに応えるのは限界がある」と感じはじめます。

そこで2013年に立ち上げたのが、研修や人材育成、組織づくりから経営を支援する「三方よし」事業です。創業以来、写真やフィットネスの事業を通して多店舗経営を展開してきた経験を活かして、蓄積してきたノウハウを生かして独自の研修メソッドを確立してきました。「成果をあげる人、組織、マネジメントをつくり出す過程には、時代が変わっても変わらない原理原則がある」と言い、組織のなかで相互理解の場を積極的に設け、人と人が相乗効果を発揮できる組織づくりを提案・実践。企業やそこで働く人の健幸をつくるという



視点で生産工程の改善やリーダー育成、事業承継といった経営支援に取り組み、なかには10

年以上にわたってサポートを続ける企業もあるなど、高い顧客満足度を実現しています。

また、2017年からは整体事業として「カラダファクトリー」の多店舗展開にも着手。コロナ禍では営業中止を余儀なくされ売上も激減しましたが、「スタッフに“攻めの休業”にしよう!と呼びかけたんです」と笑う裕子氏。ピンチを技術研修や営業改善というチャンスに変えたことで、コロナ後は売上が3倍に躍進。大手ショッピングセンターなどから出店要請を受けるなど、外部からの評価も高まっています。

企業が紡ぐ物語を一人ひとりのものに

「三方よし」事業のメソッドは、もちろん自社でも実践されています。例えば、年末には“望年会”と銘打ち、グループワークを通して一年の成果を検証し、目標を設定。一人ひとりが来年への思いを漢字一字で表現したり、なりたい自分になぞらえて自らミドルネームを命名し、一年間、社内文章に使うなど楽しみながら取り組めるユニークな研修は社員にも好評とか。社内研修や三方よし事業で指導を行う人材も育成し、講師の内製化も進めています。「トップダウンではなく、会社のナラティブ（物語）をみんなで作り上げ、それを自分自身の物語として紡いでいってもらえたら」と、人と組織の理想のあり方について常に考えてきました。

研修の成果も上がり、2023年には「滋賀県女性活躍推進企業三つ星」の認証を受け、一般社団法人倫理研究所による「倫理17000ライセンス」にも認定。また、従業員アンケートによる社員満足度80%以上の企業を対象とした滋賀県中小企業家同友会の認定制度「滋賀でいちばん大切にしたい会社」には2017年から3年連続で認定を受け殿堂入りを果たしました。満足度100%という結果を出した年もあるなか、「経営者としては社員から直接評価を受けるのは怖いものですが、目をそらさず、現状に満足することなく、よりよい会社をめざしたい」という力強い言葉に今後が期待されます。



新入社員研修の様子



Corporate policy

DATA
本社／滋賀県栗東市安養寺6-1-44
設立／平成4年(1992年)
従業員／49名
事業内容／フィットネス事業・整体事業、
セミナー研修事業・コンサルティング事業



- スタッフとその家族の物心両面の豊かさを追求する。
- 健幸な人を増やし、社会問題の解決を実現する。
- 未来の子どもたちのために自然豊かで美しい地球を残す。

Message

働く人、お客様、そして未来の子どもたちのために

社名のエフはファミリー、アイは愛を指し、互いに慈しみ合える関係を大切に、一緒に働く人が家族のような親しい仲間であり、お客様にとっても安心いただける第二の家のような存在でありたいという思いを込めています。挑戦する人をお互いに応援し支え合う風土があれば、自らを改革し、世の中を変え、ひいては未来の子どもたちのために豊かな地球を残すことにつながるはずです。人と企業の健幸づくりに貢献し、持続可能な社会の実現に取り組んでいきたいと思ひます。



球技大会の様子